

＜福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ＞
(7月14日 午前10時現在)

平成23年7月14日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

福島第一原子力発電所は全号機（1～6号機）停止しています。

1号機（停止中）

- ・ 3月12日午後3時36分頃、直下型の大きな揺れが発生し、1号機付近で大きな音があり白煙が発生しました。水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月23日午前2時30分頃、給水系から原子炉への海水注入を開始しました。
- ・ 3月25日午後3時37分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
- ・ 7月14日午前5時30分、原子炉注水量の低下が確認されたため、給水系配管からの注水量を約3.5m³/時に調整しました。
現在の注水量は、給水系配管から約3.5m³/時です。
- ・ 4月7日午前1時31分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。

2号機（停止中）

- ・ 3月15日午前6時頃に圧力抑制室付近で異音が発生、同室の圧力が低下しました。
- ・ 3月26日午前10時10分より原子炉への淡水の注入を開始し、6月23日午後6時27分、1号機の原子炉へ注水している電動ポンプにより1号機および2号機の原子炉へ注水するように注水ラインを変更し、2号機に注水していた電動ポンプを停止しました。
現在の注水量は、給水系配管から約3.5m³/時です。
- ・ 6月28日午後8時6分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。

3号機（停止中）

- ・ 3月14日午前11時1分頃、1号機同様大きな音とともに白煙が発生したことから、水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月25日午後6時2分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
現在の注水量は、給水系配管から約9m³/時です。

4号機（定期検査で停止中）

- ・ 3月15日午前6時頃、大きな音が発生し、原子炉建屋5階屋根付近に損傷を確認。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

5号機（定期検査で停止中）

- ・ 安全上の問題がない原子炉水位を確保しております。
- ・ 3月19日午前5時、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- ・ 3月20日午後2時30分、原子炉は冷温停止状態となりました。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

6号機（定期検査で停止中）

- ・ 安全上の問題がない原子炉水位を確保しています。

- ・ 3月19日午後10時14分、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- ・ 3月20日午後7時27分、原子炉は冷温停止状態となりました。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

使用済燃料プールの冷却作業

- ・ 5月31日午後5時21分、2号機の使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- ・ 6月30日午後7時47分、3号機の使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- ・ 今後とも使用済燃料プールの状況を確認しながら、必要に応じて放水・注水を実施したいと考えています。

その他

- ・ 4月26日午後1時30分、構内において放射性物質飛散防止剤の散布を開始しました。
- ・ 5月10日午前11時、6号機原子炉建屋地下から同号機廃棄物処理建屋へ溜まり水の移送を開始しました。
- ・ 6月13日午前10時頃、2、3号機スクリーンエリアに設置した循環型海水浄化装置の運転を開始しました。
- ・ 6月17日午後8時より滞留水処理施設において滞留水の処理を開始しました。
- ・ 7月2日午後6時、滞留水処理装置による処理水を、バッファタンクを経由し、原子炉へ注水する循環注水冷却を開始しました。
- ・ 7月10日午後3時15分、3号機タービン建屋から集中廃棄物処理施設プロセス建屋へ溜まり水の移送を開始しました。
- ・ 7月12日午前11時22分、4号機原子炉建屋5階の放射線量低減のため、同号機原子炉ウェルおよび機器仮置きプールに淡水の注水を開始しましたが、注水ラインからの水漏れが確認されたため、午後0時3分に注水を停止しました。調査の結果、ホースの接続部からの漏えいを確認したため、7月13日、ホース交換後、午前11時50分に注水を開始しましたが、注水ラインからの水漏れが確認されたことから、午後0時45分に注水を停止しました。
- ・ 7月13日午前10時から午後5時まで、屋外仮設タンクからメガフロートへ低レベル滞留水の移送を行いました。また、7月14日午前10時、屋外仮設タンクからメガフロートへ低レベル滞留水の移送を開始しました。
- ・ 7月13日午前10時9分、2号機タービン建屋から集中廃棄物処理施設プロセス建屋へ溜まり水の移送を開始しました。
- ・ 7月13日午前11時、セシウム吸着塔の交換のため滞留水処理施設のセシウム吸着装置を停止しました。その後、システムのフラッシングを開始しましたが、午後1時7分、同施設の凝集沈殿装置の薬液注入ライン接続部付近に漏えいを確認したため、フラッシングを停止しました。今後、漏えいの箇所の修理を行います。なお、原子炉への注水は継続しています。
- ・ 7月13日午後1時頃、正門の線量率を測定していた可搬型モニタリングポストの表示がゼロになっていることを確認しました。現場にて機器の調査を実施し異常なかったことから、免震重要棟にて電源を再起動したところ、午後2時55分頃、正常値に復帰しましたが、午後10時頃、再度、同モニタリングポストの表示がゼロになっていることを確認し、電源を再起動するも復旧しないことから、今後、計器の修理または交換を行う予定です。
- ・ 安全の確保に向け全力を尽くすとともに、引き続き周辺環境のモニタリングを継続・監視しています。

以上